

## 砺波市人口ビジョン

### I 人口の現状分析

#### 1 人口の現状

総人口は昭和 45 年以降増加したが、平成 17 年の 49,429 人（国勢調査）をピークに緩やかな減少傾向に転じている。

※住民基本台帳と外国人登録数による人口のピークは、平成 18 年 11 月末の 50,248 人

#### ●自然動態

- ・出生数は減少傾向にある一方で死亡数は増加傾向にある。
- ・平成 21 年以降マイナスであり、平成 26 年は 152 人減である。

#### ●社会動態

- ・平成 19 年を境に転出超過の傾向が強まり、平成 26 年は 94 人減である。
- ・年齢階級別にみると、高校卒業後の若い世代が転出し、20 代後半から転入する傾向があるが、近年はこの転出数が転入数によって回復しない傾向がみられる。

#### ●未婚率

- ・男女ともに全国平均に比べ低いが、20 代半ばから 40 代前半の年代において年々上昇傾向にある。

#### ●世帯類型

- ・三世帯世帯が年々減少傾向にあるが、全国や県と比べて三世帯同居率は高い傾向にある。

#### 2 将来人口推計

##### ●社人研（国立社会保障・人口問題研究所）による推計

2040 年（平成 52 年）42,073 人 2060 年（平成 72 年）34,698 人

##### ●日本創成会議による 2040 年までの推計を 2060 年まで延長したもの

2040 年（平成 52 年）41,243 人 2060 年（平成 72 年）32,941 人

##### ●砺波市独自推計（移動ゼロ+合計特殊出生率 2.00→2.07）

2040 年（平成 52 年）43,689 人 2060 年（平成 72 年）39,147 人

### II 人口の将来展望

#### 1 課題

- ・出生率の上昇に加え、特に出産適齢期である女性の数を減らさない対策が必要である。
- ・結婚活動を支援することにより未婚率を低下させるとともに、初婚年齢を早めるための対策が必要である。
- ・妊娠・出産・子育て支援により、1 人の女性が産む子どもの数を増やすとともに、安心して子育てができる環境を充実させることが必要である。
- ・高齢者の増加に備え、健康寿命の延伸に向けた取り組みが求められる。
- ・できるだけ高校卒業時の市外への転出者を少なくするとともに、県外大学等への進学者が、卒業時に Uターンで戻ってくるような対策が必要である。
- ・転出者を食い止め、ふるさとの魅力を発信することで、大都市圏からの転入を図ることが求められる。
- ・富山市や金沢市などの中核市にできる限り流出しないような対策や、たとえば市町村に進学・就職しても砺波市に住み続けるような対策が必要である。

#### 2 今後の方向性

- ・産業の振興による雇用の創出
- ・砺波の魅力発信と交流・定住人口の拡大
- ・結婚・出産・子育ての切れ目ない支援と女性にやさしいまちづくり
- ・散居村の豊かな生活の中で、人の絆で支え合う「住みよい」まちづくり

#### 3 目標人口

総合戦略の着実な実行

2060 年（平成 72 年） 40,000 人

- ・合計特殊出生率が段階的に向上し、2030 年に 2.0 程度（市の希望出生率）まで向上、その後さらに上昇し、2040 年に 2.07（人口置換水準）程度まで向上。
- ・雇用対策や定住対策、砺波に住み続ける施策による社会増を見込む。

## 砺波市総合戦略

### I 砺波市総合戦略の考え方

本市は、庄川の清流が育んだ肥沃な平野に家屋が点在する「散居村」の美しい景観に恵まれ、豊かな自然環境と生活の利便性が調和し、災害や犯罪が少ないなど、ゆとりのある空間の中で生活し、子どもを産み、育てることができる恵まれた環境にあります。

また、全国トップレベルに位置付けられる住みよさ（東洋経済新報社 2015 年「住みよさランキング」においては全国 8 位）や地域の連帯の強さは、本市の大きな魅力であり、人と地域が一体となって取り組みを進めていく土台となっています。

「砺波市総合戦略」においては、「砺波市人口ビジョン」を踏まえ、①産業振興と雇用創出、②交流・移住促進、③出産・子育て支援、④住みよい地域づくりの 4 つの基本目標を柱として“となみ創生”を目指していきます。

### II 計画期間

平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間

### III 政策パッケージによる施策の展開

#### 1. 産業を育み、安定した雇用を創出する仕組みづくり

**目標値** 平均有効求人数、市内事業所従業者数

- 北陸新幹線の開業や高岡砺波スマートインターチェンジの開通など充実した交通環境を生かした新たな工場適地の整備を図るとともに、既存の工場適地への企業誘致を働きかけることで、新たな雇用を創出する。
- 既存企業に対する支援や起業に対する支援の充実を図ることで、さまざまな産業を育成し、若者の地元定着や Uターンの促進を目指した魅力ある雇用を確保する。
- 農工商連携や 6 次産業化の推進による生産性の向上を図るとともに、農業や伝統工芸など地域産業の魅力創出に向けた取り組みにより、担い手や後継者の確保・育成を図る。

##### (1) 未来へつなぐ基幹産業の活性化と伝統産業の振興

- ①基幹産業の強化 ②伝統産業の振興 ③起業創業支援 ④コミュニティビジネスの推進

##### (2) 若者が誇りを持ち、いきいきと働ける仕事の創出

- ①企業誘致の推進 ②雇用環境の整備

##### (3) 活気ある、稼ぐ農業の実現

- ①担い手の育成・確保 ②農業ビジネスへの支援 ③チューリップの生産拡大 ④6 次産業化の推進

##### (4) 人が集まる、人で賑わう、活気あるまちの実現

- ①商業の振興と中心市街地の賑わいづくり

#### 3. 若い世代の結婚、出産、子育て、教育の希望をかなえる環境づくり

**目標値** 出生数、婚姻率、女性就業率

- 未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、結婚や子育てなど家庭を築くことの喜びを積極的に啓発するとともに、地域ぐるみで出会いの場の創出や情報提供を行うなど、若者の結婚に対する支援の充実を図る。
- 夫婦が理想とする数の子どもを産めるよう出産・子育て・教育に対する切れ目のない支援を図り、安心して子どもを産み育てやすい環境の整備を図る。
- 男女共同参画およびワーク・ライフ・バランスの推進により、女性がいきいきと輝ける地域社会を実現するとともに、女性にやさしいまちづくりを積極的に推進し、結婚・子育て世代の呼び込みを図る。

##### (1) 結婚・妊娠・出産を後押しする環境の実現

- ①結婚促進に対する支援 ②妊娠・出産に対する支援

##### (2) 安心して子育て・教育ができる切れ目のない支援の充実

- ①子育て支援環境の充実 ②保育・幼児教育の充実 ③学校教育の充実 ④ふるさと教育の推進

##### (3) 女性が自分らしく輝ける環境の実現

- ①男女共同参画の推進 ②ワーク・ライフ・バランスの推進 ③女性にやさしいまちづくりの推進

#### 2. ふるさとの魅力を発信し、人を呼び込む・呼び戻す活力あるまちづくり

**目標値** 転入者数、観光入込客数

- 四季を通して行われるイベントや伝統的な祭りなど集客力の高い観光資源や豊かな特産品、地域資源などの魅力を国内外へ向けて積極的に発信し、交流人口の拡大を図る。
- 「砺波市に住んでみたい、帰ってきたい」と思わせる砺波暮らしの魅力を積極的に発信し、I J Uターンの促進を図るとともに、大都市圏に住む若い世代の移住・定住へつなげる。
- 屋敷林に囲まれた伝統家屋を都市からの定住者の住居としてだけでなく、交流施設や滞在型観光における宿泊施設など定住・半定住の拠点として活用し、交流・定住人口の拡大を図る。

##### (1) 散居景観の保全と散居暮らしの魅力発信

- ①散居景観と自然環境の保全 ②花と緑のまちづくり ③空き家の適正管理と利活用

##### (2) 地域資源の活用と選ばれる観光地づくりの推進

- ①コミュニティ観光の推進 ②おもてなし力・観光客への利便性の向上 ③となみブランドの創出・魅力発信

##### (3) 住んでみたい、帰ってきたい、魅力あるふるさとの実現

- ①シティプロモーションの推進 ②移住（I J U）に対する支援

#### 4. 砺波らしい生活環境を守り育て、すべての世代が安心して暮らせる地域づくり

**目標値** 転出者数、健康寿命（男性・女性）

- 日常生活の利便性や医療・福祉の充実、犯罪や災害の少なさなど砺波らしい強みを生かした「住みよいまちづくり」を推進するとともに、健康づくりや生きがいづくりの充実を図り、健康寿命の延伸に取り組む。
- 三世帯同居の推進を図り、子育てや高齢者介護などの負担を世代間で支え合える豊かで持続可能な社会の実現を目指す。
- ふるさと教育を推進し、郷土愛の醸成を図るとともに、地域コミュニティ活動や伝統文化の継承により、世代を越えた地域のつながりを強め、人の絆で支え合うあたたかい地域づくりを進める。

##### (1) みんな暮らせる、ずっと暮らせる、いきいきとした快適な暮らしの充実

- ①生活基盤の整備 ②安全・安心なまちづくりの推進 ③健康づくりの推進 ④介護・福祉体制の充実 ⑤生きがいづくりの推進

##### (2) 人の絆で支え合う、世代を超えて想いをつなぐ、心がかようコミュニティの実現

- ①地域コミュニティの活性化 ②三世帯同居・近居の推進 ③地域の伝統文化の継承

##### (3) 連携事業による特色を生かした地域活性化の実現

- ①広域連携の推進 ②大学連携の推進